

ICR 2014 Special Symposium Japan and the World after 3.11

筑波大学はTsukuba Global Science Week 2014を開催いたします。Science Weekは、本学と海外大学を交え、若手研究者の研究報告と交流を深めることを目的に「地球規模課題に対し、学術領域のあいだのインタラクションを通して、その解決を模索する」をテーマに開催するものです。これに合わせ、人文社会国際比較研究機構は「グローバルな視点から東日本大震災後の日本と世界を捉えなおす」機会として、シンポジウム“Japan and the World after 3.11”を同時開催します。シンポジウムでは、出席者それぞれの視点を切り口に、東日本大震災後の日本と世界のあり方について、当機構長・辻中豊とともに議論してまいります。未来の社会を担う若い高校生や大学生に開かれた、グローバルかつ未来志向の議論の場といたく考えております。

プログラム

- 12:30 開場
- 13:00 開会挨拶
辻中 豊 (ICR機構長)
- 13:10 登壇者によるプレゼンテーション

The Impact of the 3/11 Disasters on Domestic Japanese Politics
アーサー・J.A.A.・ストックウィン 氏

Japan and the World After 3.11: Quo Vadis
黒川 清 氏

Japan after Great Earthquake-View from Former Chairman of Reconstruction Design Council in Response to Great East Japan Earthquake-
大震災後の日本-元 東日本大震災復興構想会議議長からの眺め-
五百旗頭 真 氏

Japan after the Great Earthquake: Exploring Public Decision Making
辻中 豊

コーディネーター
大友 貴史

* 講演テーマは仮のものです。登壇者の都合により一部変更の可能性があります。

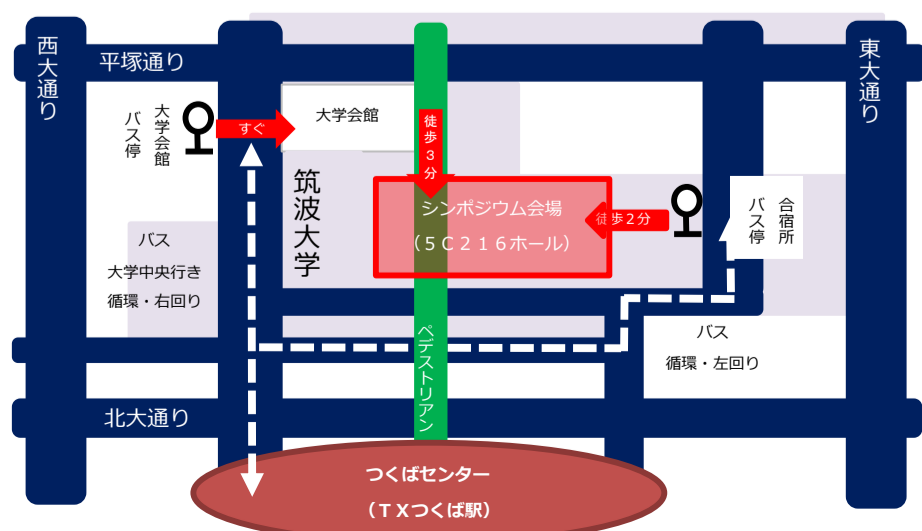
- 14:30 休憩
- 14:40 ディスカッション
質問歓迎。フロアの質疑応答を交え、登壇者とともにオープン・ディスカッションを展開します。
- 15:50 まとめ/閉会挨拶
辻中 豊
- 16:00 終了予定

事前登録方法

参加無料。申し込みは、下記フォームにアクセスのうえ事前にご登録をお願い致します。冒頭の必要項目をご記入いただき、Japan and the World after 3.11, 13:00-16:00の箇所にチェックを入れ、下部の「送信」ボタンを押してください。
<http://ura.sec.tsukuba.ac.jp/TGSW2014/registration.html>

* なお、開催会場に直接お越しいただいた際の当日参加も可能です。

会場案内 (つくばセンターから)



- 交通案内 (関東鉄道バス)
- 筑波大学中央
 - 筑波大学循環 (右回り) 「大学会館前」バス停 下車徒歩3分。
 - 筑波大学循環 (左回り) 「合宿所」バス停 下車徒歩2分。

登壇者プロフィール



アーサー・J.A.A.・ストックウィン (Arthur (J.A.A.) Stockwin)

日本政治研究者。1935年生。オックスフォード大学卒業後、オーストラリア国立大学 (ANU) で博士号取得。オーストラリア国立大学を経て、82年、オックスフォード大学日産日本問題研究所の初代所長、セント・アントニーズ・カレッジ・フェロー。94年、英国日本研究学会会長等を歴任。2004年には旭日中綬章を受章され、2009年には国際交流基金賞を受賞。現在、オックスフォード大学名誉教授とともに、Nissan/Routledge Japanese Studies書籍シリーズの編集長をも務めている。英国を代表する現代日本政治研究者であり、日本社会への造詣も深い。



五百旗頭 真 (いおきべ まこと)

政治外交史家。1943年、兵庫県生まれ。67年、京都大学法学部卒業。69年、同修士課程 (政治学専攻) 修了。広島大学助手・助教授を経て、神戸大学法学部教授。その間、ハーバード大学・ロンドン大学客員研究員、日本政治学会理事長などを歴任。2006年、防衛大学校長に就任し、東日本大震災発災後は内閣府復興構想会議議長、復興庁復興推進委員会委員長を務めた。文化功労者。現在、公益財団法人ひょうご震災記念21世紀研究機構理事長。公立大学法人熊本県立大学理事長。神戸大学名誉教授。著書のうち「米国の日本占領政策」「占領期-首相たちの新日本」「日米戦争と戦後日本」「戦後日本外交史」「歴史としての現代日本」がさまざまな賞を授与された。



黒川 清 (くろかわ きよし)

東京大学医学部卒 (医学博士)。1969-84年在米。1979年カリフォルニア大学ロサンゼルス校 (UCLA) 医学部内科教授、89年東京大学医学部第一内科教授、96年東海大学医学部長、2003~06年日本学術会議会長、内閣府総合科学技術会議議長、2006~08年イノベーション25戦略会議議長、内閣特別顧問などを歴任。その他、国会福島原子力発電所事故調査委員会委員長 (2011年12月~12年7月) など。また、国会事故調の働きに対して Foreign Policy 100 Top Global Thinkers 2012 に選ばれ、AAAS Scientific Freedom and Responsibility Award (2012) を受賞。現在、IMPACT Foundation Japan 会長兼ファウンダー、東京大学名誉教授、MIT、コロンビア大学客員研究員。Distinguished Research Affiliate, MIT Media Lab (2011-)、一般社団法人グローバルヘルス技術振興基金 (GHIT Fund) 代表理事・会長 (2013-)。ブログ: <http://www.KiyoshiKurokawa.com/>



辻中 豊 (つじなか ゆたか)

政治学者。1954年生まれ。博士 (法学) (京都大学)。大阪大学法学研究科単位取得退学後、81年、北九州大学講師。同助教授を経て、86年、筑波大学助教授。98年により同教授。筑波大学では学長補佐 (国際連携担当)、副学長 (国際担当) を歴任し、2013年4月より筑波大学学長特別補佐。現在、国際大学協会 (IAU, International Association of Universities) 理事、国際化小委員会委員長。日本政治学会次期会長 (2014年10月~)。

コーディネーター **大友 貴史 (おおとも たかふみ)**
筑波大学准教授

ICR 人文社会国際比較研究機構
Institute for Comparative Research in Human and Social Sciences



筑波大学 人文社会国際比較研究機構 (Institute for Comparative Research in Human and Social Sciences, ICR) は、人文学と社会科学を中核とし、学術領域間の融合と交流を促進し、国際的な成果発信を強化することを目的に、2014年4月、筑波大学に新たに発足した研究組織です。基礎研究を重視しつつも、人文学・社会科学に対してトランスナショナルな比較方法論の模索と開発を促すプラットフォームとしての役割を追求してまいります。
公式ウェブサイト: <http://icrhs.tsukuba.ac.jp/>